

10 月度木曜例会

2018 年 10 月 4 日
茨木市福祉文化会館

テーマ「日本における第二言語としての英語の問題」

今回のゲストスピーカーは Ms. Li Tan さん（オーストラリア）です。
日本に在住し 17 年、英語教師をされています。

日本人のご主人も本日の例会に同席、IIN 会員と一緒にスピーチを聞いて頂きました。



“日本人は、なぜ日本語以外の言語習得に非常に苦勞をしているのか…？”

言語学、日本の今後の発展 そして日本での将来的な英語の役割についてなど、
英語教師を務める Ms. Li Tan さんが、異なる観点の切り口でお話をされています。

<言語を学ぶ上での注目点>

① 哲学の重要性

哲学思想は、政治、経済、科学、宗教、教育、芸術、美術など、物事の基礎となる考えで、
2 人の哲学者を紹介

◆ルネ・デカルト（合理主義）：人間には生まれながら知的能力を与えられ持っている信念

◆ジョン・ロック（経験主義）：最初は何もなく、知識はゼロからのスタートである

* 認識論・タブラ・ラーサ（われわれの心は白紙状態）

◇ 相対的な 2 人の哲学者、皆さんはどちらを支持しますか？

➤ 彼らの 2 つの考えは、社会構築と教育を形成している。

② 人類社会のルーツ（狩猟→農耕へ発展）

農業主義の中で、役割に対してあらゆる権利が生まれる

- * 封建主義
- * 民主主義
- * 共和国
- * 少数独裁主義 など

◇ 社会的なグループやコミュニティを形成、発展させる場合、どんなタイプの人 が支持され、リーダーになりますか？

- リーダーが良い悪いにかかわらず、トップになる人は、パワーを持っている。

③ 日本の教育問題

◇ 英語だけでなく全体を通して、日本の教育で悪い点は何か？

◇ 世界的に日本はどのようにして競えるのか？

- 基本的に日本人は、はっきりとした強みがあるが、弱点も兼ね備えている。
日本社会は学問に基づいていて、個々の能力は非常に高く、雰囲気を読むなどの柔軟性がある。
- しかし、日本人は質問に対して1、2個の考えを持っているが、何故そう考えるのか？ の説明には、答えが出ない。



④ 哲学者・ノーム・チョムスキーの存在：

生まれながら持った先天的知識を主張する一番の提唱者

◇ 先天的知識の最大のテーマ

1. LAD：Learning Acquisition Device（言語取得装置）
* 言語を人間の生物学的な器官とする説
2. 言語刺激の不足
3. 離散無限性（言語と数は異なるように見えるが、機能は共通項を持つ）

- ノーム・チョムスキーは幼少期に習得する FLA（第一言語習得）を研究した。
* FLA：First Language Acquisition（第一言語習得）
* SLL：Second Language Learning（第二言語学習）

● FLA（第一言語習得）の発達レベル

- 1 段階：Pre Speech（最初の発話）
 - 2 段階：Babbling（片言）
 - 3 段階：Holophrastic Stage（一語文の段階）
 - 4 段階：Word Combining（単語の結合）
 - 5 段階：Exponential Language Growth（飛躍的な言語の成長）
- 世界には 6,000 言語あり、24 種類、4 つのパターンに分けられると言われている。

◇ 様々な研究を実践・検証

- 10 人の異なる言語を持つ子供達をいろんな方法で遊ばせてみる。
（フランス語・スペイン語・日本語・英語 etc.）
結果、信じられないほど簡単に習得した。
- 言語が十分発達できていない子供は、すべての体の部分で音や韻をキャッチし
母親の質問に対して自動的にパターンを使い意思を伝えることができる。

- FLA（第一言語習得）の特徴

1. Permanent：永続的
2. Immersion：集中
3. Sensorimotor：感覚運動
4. Schema Learning：図式的学習
5. Pragmatic (natural repetition)：実用を自然に繰り返す
6. Has Intrinsic motivation：本質的な動機がある
7. No Language Pride：言語に対する自尊心がない

- ◇ FLA（第一言語習得）と SLL（第二言語学習）の最大の違いは？

- FLA は最初の言語を維持し続けるので、もし20年間 日本を離れたとしても、日本語の能力は優れた状態である。
→ FLA（第一言語習得）がすぐに反応している為
- SLL（第二言語学習）は忘れることが容易である
私たちの第二言語の勉強法が受動態である為、覚えるために脳を使うだけで、実践を用いた言語を習得する経験がない。

- ◇ SLL（第二言語習得）を成功するためには？

- ただ勉強をするだけでなく、学習にふさわしい機会や経験を得ることが大切である。

Tanさんはトピックごとに会員の皆さんにシンキングタイムを取り、理解が出来たかを問いかけ、スピーチをされていました。

表情も豊かで、終始笑いが絶えないディスカッションの場を持てる例会になりました。

